



Photo Koichi Nishimura



Yuka Ejima
Moegi Keshi
Karin Morisaki
Youki Shimizu
Yume Tanigawa
Memori Iwasaki



染める、織る、編む

それぞれの感性と自由な発想で新たな表現を追求する6人の作家。

本展では、さまざまな技法や素材を用いて生み出された多彩な作品を通して、現代に広がる染織の可能性をご紹介します。



染織の今に、出会う
新たな表現のかたち



現代染織の美

The Beauty
of Contemporary
Dyeing

2026.9.18 FRI » 10.25 SUN 10:00-16:30 (入館16時まで)

料金：一般 300円 (高校生以下無料)

伊賀市 ミュージアム青山讃頌舎 Iga City museum Aoyamautanoie

三重県伊賀市別府718番地3 (火曜日休館)

<お問合せ> (公財) 伊賀市文化都市協会 TEL: 0595-22-0511

伊賀市 ミュージアム青山讃頌舎 受付 TEL: 0595-52-2100

(一財) 東洋文化資料館 青山讃頌舎 <https://aoyamautanoie.net/>

<主 催> (公財) 伊賀市文化都市協会 / 共催: 伊賀市 後援: 伊賀市教育委員会 / 協力: (一財) 東洋文化資料館 青山讃頌舎

◇この事業は、伊賀市文化振興条例・伊賀市文化振興ビジョンに基づき実施します。



Profile

若き染織作家たち



江島 佑佳 Yuka Ejima

- 2007 京都造形芸術大学大学院 修士課程終了
- 2019 The First Biennale oh Natural Dyes (中国シルク博物館/中国・杭州)
第5回藝文展展 (京都芸術センター/京都)
- 2021 Colors染めの世界・八幡はるみと卒業生 (京都芸術大学/京都)
- 2023 新鋭染色作家展 柳は緑 花は紅 (染・清流館/京都)

- 2023 京都市立芸術大学大学院修士課程 修了
 - 2023 第34回創工会展 新進作家五人展(京都文化博物館/京都)
 - 2024 第33回新工芸展 (東京都美術館/東京)入選
 - 2025 新鋭染色作家展「彩光の瞬き」(染・清流館/京都)
- 蠟と染料を描画材として、草花などの形を介し、自らの心象風景を描いています。



芥子 萌樹 Moegi Keshi



森崎 華林 Karin Morisaki

- 蠟染めや金彩等の技法を用いて、自若とした自然風景や植物の姿から祈りを模索する作品づくりを行っている。
- 2023年嵯峨美術大学大学院芸術研究科芸術専攻デザイン分野修了、第51回修了制作展にて卒業生特別賞受賞。
- 2025年染・清流館「新鋭染色作家展 彩光の瞬き」出展。

access



伊賀市 ミュージアム青山讃頌舎

【車でお越しの方】

- ・名阪国道上野東ICより20分、R165阿保交差点の信号を南東(直進)、大村神社南駐車場に駐車。
- ・伊勢自動車道久居ICより40分、R165別府交差点の信号を左折、大村神社南駐車場に駐車。

【電車でお越しの方】

近鉄青山町駅下車 徒歩15分、
近鉄青山町駅よりR165青山町駅前
信号を直進、西参道石段を大村神社へ

*ご来館の方は大村神社を目指してお越しください。



タニガワ ユメ Yume Tanigawa

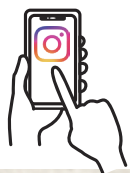
- 1999 京都生まれ
 - 2017 銅駝美術工芸高校染織専攻 卒業
 - 2020 京都市立芸術大学陶磁器専攻 卒業
 - 2020 京都にて工房を構え制作
- 土で文様をつけた縄の器、【土文縄器】を制作。縄文土器の逆バージョン。縄を編んで形作っていく作業は、不思議と作陶の動作と似ている。線が面になって、空間を隔てていく。内と外の境界を楽しくおよぎたい。

織物という反復する形とそれを取り巻く道具に興味があり、さまざまな道具を自作の織機へと作り替え、それらを使用しながら制作しています。道具は織物の一部であり、織物もまた、暮らしの道具の一部であると考えます。

2021年、成安造形大学空間デザイン領域コスチュームデザインコース卒業。同年から関西を中心に個展、芸術祭などに出品。近年の主な展覧会として「JTCテキスタイルの未来形in宝塚2025」「京都府新鋭選抜展 Kyoto Art for tomorrow」



岩崎 萌森 Memori Iwasaki



ぶんと展覧会情報はこちら▷

@bunto_exhibition



ぶんと展覧会について投稿していますぜひフォローお願いします

